No.95 北本市議会だより

去る12月18日に、タブレットの操作方法などについて議員研修を行いました。

主な内容

12月定例会……P.2

一般質問……P.3～5

議会・委員会の動き…P.6～7

提出案件の結果等……P.8

平成28年
第１回 北本市議会定例会は
2月23日(火) 開会の
予定です。

平成28年(2016)2月1日発行
編集 議会広報委員会
発行 北本市議会　北本市本町1-111
TEL 048-591-1111　FAX 048-591-6335
URL http://www.city.kitamoto.saitama.jp/shigikai/

12月定例会

第五次北本市総合振興計画基本構想については特別委員会を設置し継続審査

11月27日から12月15日まで19日間の会期で開かれた定例会では、市長提出議案11件、委員会提出議案3件、請願4件を慎重に審議しました。

特に、議案第65号「第五次北本市総合振興計画基本構想について」は、「今後更なる調査研究及び議論を深める必要があり、引き続き慎重に審査を進めるため」閉会中の継続審査となりました。

今定例会で審議された市長提出議案のうち、質疑がなされた議案について、その主なものを掲載します。

「議案第65号」第五次北本市総合振興計画基本構想について

Q、基本構想の基本理念と将来都市像について、市民意識調査をどのように反映しているのか。

A、市民の皆さんの満足度としては、道路交通体系の整備や、道路環境がよくない、東京までの電車のアクセス性にしても今一歩のところがあるのではないかと思います。加えて、商業・サービス関係・工業振興関係・就労関係等の満足度が低くなっています。

これらのことから、第五次北本市総合振興計画においても、満足度の低いものについては重要だと考え、力を入れていかなければならないと考えています。

さらに、若い世代が、他の自治体に出ていく傾向はあると思います。一つは、学校の進学、もう一つは、仕事の関係です。特に就職時期に北本市内に就職して仕事ができる場所が少なく、都内に行くと、働く場所が多いのも事実だと思います。

併せてもう一つ考えられるのは、バブル期は家賃も高かったのですが、最近は家賃が東京周辺でもそれほど高くない状況があり、若い世代が東京方面に移りやすい環境があります。これらのことから、まずは若い人たちが働ける場を設けるということが大事ではないかと考えています。

また、高崎線の終電車の時間が早いことがあります。高崎線の終電車が延伸しないことには、特に若い世代が、遅くまで働いていると家に帰ることができないという状況も考えられますので、その辺も含めて色々な形で環境を整えていかなければならないと考えています。

アンケート調査は、市民の皆さんがどんなことを考えているかを捉えるための機会と考えていますので、その結果を踏まえた上で計画をつくり、それを進めていかなければいけないということは当然だと思います。

一方で、子育て世代がどこに住むか、それが人口の問題を考える場合はポイントだと思います。その際に子育て支援策等が充実した場所を選ぶ傾向はあると考えていますので、北本を選んでいただけるような施策を市外に向けても発信していかなければならないと思います。

「議案第65号」第五次北本市総合振興計画基本構想について

本議案に対しては、議長から「本市を取り巻く経済・社会情勢に鑑み、慎重な検証が必要」との理由により、「委員9名をもって構成する第五次北本市総合振興計画審査特別委員会を設置し、これに付託の上、審査する」ことが提案され、全員異議なしとして当該特別委員会付託のうえ審査することになりました。

また、最終日には、特別委員長から、「閉会中の継続審査としたい」との申し出があり、全員異議なしとして、閉会中の継続審査となりました。

【紹　介】

今定例会において設置された特別委員を紹介します。（敬称略）

○第五次北本市総合振興計画審査特別委員（9名）

委員長　工藤　日出夫
副委員長　渡邉　良太
委　員　高橋　伸治
諏訪　善一良
湯沢　美恵
今関　公美
滝瀬　光一
黒澤　健一
島野　和夫

○北本市議会基本条例制定特別委員（9名）

議会改革を目指し、北本市議会基本条例を制定するため、北本市議会基本条例の制定に関する件について北本市議会基本条例制定特別委員会を設置して付託し、閉会中の継続審査としました。

委員長　滝瀬　光一
副委員長　高橋　伸治
委　員　北原　正勝
湯沢　美恵
日高　英城
松島　修一
工藤　日出夫
岸　昭二
加藤　勝明

市政に対する一般質問

一般質問とは、議案と関係なく市の行政事務の状況や将来に対する方針などをただすもので、定例会に限って行われます。質問方式は、一問一答方式または一括質問一括答弁方式との選択制で実施しています。

今定例会では、19人の議員から71件76項目について質問がありました。その中から主なものの答弁を掲載しました。

平成27年第３回定例会から、一問一答方式を選択した場合、質問回数の制限を廃止しました。

庁舎の身体障がい者駐車場

問１　庁舎の身体障がい者駐車場の雨天時等での乗降の改善について

答１　身障者用駐車場ご利用の皆様には、現在大変ご不便をおかけしている状況です。

改善につきましては、乗降の妨げになっている高い縁石を撤去し、斜めの段差ブロックに取り替えることにより、両側の縁取りの立ち上がりを周囲の舗装仕上げの高さまで、低くすることにしたいと考えています。

雨天時の改善ということで大屋根を東側へ延長することは金額的にも、工事的にも難しいと思われますので、東側駐車場側の大屋根の下、市役所の東側付近に自動車、バス乗り降り用の車寄せがありますので、ここに車椅子使用者の駐車スペース１台分を一番南側に、横置きの形で表示してまいります。これらによりまして、晴れの日は４台分、雨の日にも３台分確保されることになります。

今年度末までには対応したいと考えています。

教育行政

問１　本市の特徴ある教育と児童・生徒の学力向上教育について

答１　社会が急速に変化する今日、これからの社会を正しい判断力を持ってたくましく生き抜く力を育てるために、学力向上への取り組みが求められています。

国や県・市で実施する各種の学習状況調査の結果をもとに、学力向上推進委員会を組織し、学力向上に向けた授業改善等の検討を行っています。また、子どもたちの発達段階や特性に応じた適切かつきめ細かな支援や指導を行う学校４・３・２制の研究を推進し、義務教育９年間を見通し、系統的な教育課程の編成を行っています。さらに、学力向上支援員や特別支援教育支援員、図書館指導員を配置し、児童・生徒一人ひとりに応じた、課題解決や成長を見届けており、普段の教育活動で理解が十分でない、また理解を深めたい子どもたちへの支援として、小中学校で土曜補習、中学校ではナイトスクールを実施しています。

12月定例会一般質問

※質問通告順に掲載

高橋伸治（みらい）
- 教育行政におけるコンプライアンス・倫理・礼儀
- 人口問題
- 再任用

中村洋子（日本共産党）
- ＴＰＰ参加による影響
- 子育て支援のあり方と課題
- 高齢者の居場所づくり

大嶋達巳（みらい）
- 洪水ハザードマップと避難所
- 不当利得返還請求義務付け住民訴訟事件の取り下げ
- 圏央道蓋かけ上部の利用

他２件

滝瀬光一（平成会）
- 子ども家族のための切れ目のない支援（ネウボラ）
- 地域包括ケアシステムの構築と社会福祉協議会
- 北本総合公園野球場の整備（防球ネット整備及び老朽化した球場の改修）

他２件

保角美代（公明党）
- 若者のチャレンジ応援
- 重度障がい児の保育施設
- 児童虐待防止

他１件

今関公美（緑風会）
- 防災
- 庁舎の身体障がい者用駐車場
- 職員採用と職務内容等のバランス

他１件

島野和夫（公明党）
- 若者の住居支援
- 高尾さくら公園下のホタル池周辺整備
- 災害時のマンホールトイレの整備・普及

上尾道路

問1　今後の見通しや接続道路について

答1　上尾道路Ⅱ期区間(北本市石戸宿より鴻巣市箕田の9・1㎞)については、平成25年9月の測量・地質調査に引き続き、26年8月に幅杭の設置から用地買収までに関する説明会が実施され、買収範囲を示す用地幅杭の設置作業が現在行われている状況です。併せて各地区の計画平面図素案が示されました。この計画図を受け、国は今後、県、北本市、鴻巣市や関係機関を通じ、上尾道路と接続する県道や市道の形状等についても協議、調整することになります。本市も、今後国や地元との調整を図って行く中で、利用しやすい形態になるよう調整します。

問2　沿線土地利用計画について

答2　上尾道路周辺地域については、第五次北本市総合振興計画案の土地利用構想の中で、首都圏中央連絡自動車道や上尾バイパス等の整備効果を有効に活用するため、新たな土地利用を推進すると定め、新たに沿道サービスゾーンに位置付けています。周辺地域の企業誘致については、多くの地域が市街化調整区域であり、その多くが農振農用地に指定されていることなど多くの課題があり、大変厳しい状況が予想されます。今後の企業誘致可能性調査結果を生かし、上尾道路の事業進捗状況を見極めながら周辺地域の土地利用を検討します。

第五次北本市総合振興計画

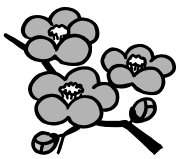
第五次の基本計画では、各施策の構成要素となる基本事業レベルで、重点分野を設定し、予算や人員等限られた資源を効率的に配分します。前期基本計画の主な施策は子育て支援、住宅政策、産業振興等の人口減少に対応する内容と、学校教育、健康作り、生活道路整備、健全な財政運営等、現時点で重点的に進める必要がある分野を挙げています。

問1　計画の概要について

答1　自治基本条例により総合振興計画に基づき市政運営を行うこととしているため、第五次北本市総合振興計画では市政全般についての内容を盛り込みます。

問2　近隣市との連携について

答2　圏央道は北本・桶川インターチェンジと白岡菖蒲インターチェンジ間が開通し、県内全域が繋がりました。また上尾道路の整備が予定されていることから、このような立地条件を生かすべく、本計画の土地利用構想では南部地域は商業業務地及び複合的な開発地、上尾道路予定沿線は沿道サービスゾーンに位置付けています。圏央道と上尾道路の総合相乗効果を目指すには隣接する桶川市との広域的な連携が必要であると考えます。本市と桶川市で協議・調整を図りながら進めたいと考えます。



金子眞理子（緑風会）
- 学校司書の配置
- ＨＩＶ感染・性感染症の予防
- 障がい者への医療費助成

他1件

日高英城（緑風会）
- 北本市消防団
- 厚生労働省の「墓地経営・管理の指針等について」と今後の公営墓地の在り方
- 公共事業内容の決定方法と責任

湯沢美恵（日本共産党）
- 健康づくりの施策
- 産業振興の施策
- 職員の配置と賃金

岸　昭二（公明党）
- 市民の元気づくり施策
- 「障害者差別解消法」の施行に向けた取り組み
- 交通の利便性を生かしたまちづくり

北原正勝（みらい）
- 第五次北本市総合振興計画
- 〝安心・安全なまち作り〟の地域活動について
- 南部地域基盤整備事業の取り組み状況

工藤日出夫（緑風会）
- 新教育長が目指す北本市の教育と開かれた教育行政に向けた今日的意義（ミッション）と課題の克服に向けたリーダーシップ
- 公立保育所再編の基本方針を受け安全で安心し子育てと仕事の両立が図れる保育の確立に向けた公共の責務

松島修一（平成会）
- 圏央道ＩＣ及び上尾道路周辺地域の土地利用計画
- 本市の農道整備
- 本市の障がい者福祉（第四期障害福祉計画）

他1件

保育の充実

問1　低年齢児保育の充実と課題について

答1　現在、生後8週以降保育が可能な民間保育園は1か所のみで、他の民間保育園では、歩行可能となってから保育の受け入れを行っています。また公立保育所では、中央保育所以外の保育所で生後6か月から受け入れを行っています。低年齢児の保育の実施にあたっては、国の指針に基づく配置人数の基準により保育士を配置し、保育士の確保と育成、支援が必要となります。今後、公立保育所の再編を検討する中で、0歳児等の低年齢児の受け入れについても検討を行っていきます。

問2　公立保育所再編の基本方針を受け、子育てと仕事の両立を図ることのできる保育の確立について

答2　児童福祉法で保護者の労働または疾病、その他の事由により、児童の保育を必要とする場合、市町村において保育をしなければならないことが規定されており、また、市町村は認定こども園等に必要な保育を確保するための措置を講ずることとしています。本市は平成24年度から年度当初の待機児童が発生していない状況です。合計特殊出生率は、1・1前後で、ゼロ歳児の人口も昨年度は38人となっています。公立保育所については、保育の提供量や今後の見込み量を考慮し、再編に取り組んでいきたいと考えています。

防災

問1　総務省が促進する「観光・防災Wi-Fiステーション整備事業」への対応について

答1　自治体による無料Wi-Fiを提供するサービスが、観光、防災・減災、住民サービス向上や行政事務効率化の利用目的で行われ始めています。

　無料Wi-Fiは、災害時の情報伝達などに効果がありますが、アンテナなどの機器の設置やランニングコストなどの経費負担も発生しますので、災害時だけではなく平時でのサービス提供の活用策を検討する必要があります。財政面と合わせ、関係部署と協議を行い、他市の先進事例なども参考にしながら、調査研究をしていきます。

問2　水害が予想される地域の自治会、自主防災組織、住民、さらには近隣自治体やその住民との間での避難誘導訓練の必要性について

答2　今年度の水防訓練として、国・県が発表した洪水予報、水防警報、水位周知を迅速かつ的確に伝達する情報伝達業務の訓練を行いました。しかしながら、洪水時において歩ける深さは大人で70センチ以下、女性で50センチ以下、また小学校5・6年生では水深20センチより上になると避難ができなくなることから、浸水から速やかに安全な場所に避難することが最も重要となります。市民や関係機関を対象とした訓練を今後は実施していきたいと考えています。

黒澤健一（平成会）
- 市長の目指す市民本位の政治
- 中期財政計画と第五次北本市総合振興計画
- 北本市の高齢化に対応した施策の充実

横山　功（平成会）
- 第6次産業化を目指した産業政策の充実
- 市の活性化策
- 教育の充実

他3件

加藤勝明（平成会）
- 中丸8丁目一般ゴミ埋め立て跡地の利用
- 北本市シルバー人材センターの駐車場の確保
- 北本市の特産品の育成

他1件

渡邉良太（みらい）
- 都市計画における容積率の緩和
- セーフコミュニティ
- パープルリボンの取り組み

諏訪善一良（仮称北本会）
- 市長の街づくりの姿勢
- 第五次北本市総合振興計画の広域的見地からの位置づけ

他3件

傍聴のご案内

議会では、皆さんの生活に密着した重要な問題を審議しています。

身近な市政を知るためにも、議会を傍聴してみませんか。

委員会での質疑

総務文教常任委員会

「公共施設マネジメント計画」

Q．公共施設マネジメント計画と固定資産台帳整備事業の関係性について

A．今回、公共施設マネジメント計画については、固定資産台帳の整備と併せて平成28年度に策定することとしたため、27・28年度の債務負担行為の限度額自体は変えることなく、27年度分の経費を減額しました。

今回の固定資産台帳整備事業は、各公共施設の建物や電気設備、機械設備等の更新時期や改修等にかかる経費を把握し、公共施設の老朽化を数値として捉えることを主な目的としています。公共施設マネジメント計画を策定する前に固定資産台帳の整備をすることで、得た情報を基にスムーズに計画を進めていけるものと考えています。加えて、台帳の情報に基づいて施設の管理計画を策定することが望ましいという総務省の通知もあったところです。

このようなことから、固定資産台帳を公共施設マネジメント計画と併せて整備するのが効率的であると考え、今回債務負担行為の補正を行いました。

保健福祉常任委員会

「あすなろ学園の指定管理者」

Q．現在の指定管理者に対する利用者の満足度や評価、経営状況について

A．平成26年度では、「満足している」とした利用者が93％となっています。２か月に一度保護者会も開催していますが、特に苦情等はいただいていません。経費についても、企業努力により節減しています。現在の指定管理者である社会福祉法人埼玉県社会福祉事業団は、健全に事業経営を行っていますし、あすなろ学園を任せられるものと考えています。

建設経済常任委員会

「コンビニ交付」

Q．コンビニ交付証明システム更新業務の適正価格について

A．現在、住基カードを使用してコンビニの多機能端末による印鑑証明書や住民票等の交付サービスを行っています。その機器の保守管理が平成27年６月末で終了しますので、機器の更新のために、ハードウエアの更新費用としてサーバー1,100万円、導入経費900万円、消費税を含めて2,160万円の債務負担行為の補正を行います。予算の見積りにあたっては、２業者から見積りを徴取し計上していますが、導入に向けての作業では、情報政策を統括する政策推進課と連携を図り、また、県内でコンビニ交付を導入している市・町からも情報を収集し、適正な価格について確認したいと考えています。

委員会行政視察

■ 総務文教常任委員会

10月6日から8日まで、大阪府高石市：共同利用型自治体クラウド事業について、京都府長岡京市：行政評価について、滋賀県守山市：グローバル社会を生きる力の育成(ハローイングリッシュプロジェクト)について視察しました。守山市では、グローバル社会に対応できる人材育成と一人ひとりの主体的な学びの実現を目的として市内全小学校区の５歳児及び小学校１年から４年生を対象にＡＬＴによる英語活動をすることで、幼少期から英語コミュニケーションの素地を発達段階に応じて養う事業を実施しています。子ども達が外国語に興味関心を示し、外国人にも積極的にコミュニケーションをとる姿勢が培われ、国際人としての資質を身につける一助となることが期待されています。

■ 保健福祉常任委員会

10月21日から23日まで、三重県いなべ市：元気づくりシステム事業について、同県伊賀市：伊賀市がめざす地域包括ケアシステム構築事業について、同県名張市：名張版ネウボラ（妊娠・出産・育児の切れ目のない支援）について視察しました。いなべ市では、住み慣れた地域でいつまでも暮らせる予防重視型システムを目指して、要支援・要介護状態となるおそれがある人及びサービスを利用していない人などを対象に、自宅訪問を行い事業への参加を促しています。これらの取り組みから得られたものは、地域の力を活かすことを考えるようになったことや、支援メニューの卒業後にボランティアとして担い手に回る意識が芽生えたことなどを挙げることができ、今後は、市民一人ひとりの幸せづくりに資することができるような事業にしたいとのことでした。

■ 建設経済常任委員会

10月6日から8日まで、香川県高松市：①丸亀町商店街のまちづくりについて②丸亀町商店街市街地再開発事業について、同県東かがわ市：特産品開発によるまちづくりについて、同県善通寺市：①民間住宅リフォーム支援、市内商業活性化事業について②讃岐もち麦ダイシモチ普及促進事業について視察しました。善通寺市の讃岐もち麦ダイシモチ普及促進事業は、食物繊維を豊富に含むダイシモチの普及に取り組み、地元業者と協力して、ダイシモチの関連商品を数多く開発しました。さらに、景観作物としての素質を利用してダイシモチの里を新しい名所にしようとの動きも始めています。今後は、ダイシモチを健康食材として全国展開を図り、新たな取組みに挑戦していきたいとのことでした。

■ 議会運営委員会

8月10日から11日まで、愛知県大府市：①議会活性化について②委員会のテーマ活動について、静岡県藤枝市：①議会運営全般について②議会改革の取り組みについて視察しました。議長より「１　議会報告会の在り方について」「２　委員会の活性化について」「３　議会基本条例の制定に向けての取り組みについて」の諮問を受け、議会改革に先進的に取り組んでいる２市において、タブレット端末、電子黒板の導入や委員会活動の活性化、さらに予算に向けたＰＤＣＡサイクルについて視察してきました。これらの研修を基に検討し、実行できるものから順次推進していきます。

議 会 報 告 会

○第９回議会報告会を開催しました

去る１月16日（土）に西部公民館及び17日（日）に南部公民館において、第９回議会報告会を開催しました。16日には36名、17日には33名の参加がありました。

主な提出案件の結果一覧

※会派別議席番号順、敬称略

議案名		議決結果	平成会					みらい					緑風会				公明党			日本共産党		(仮称)北本会
			松島修一	滝瀬光一	黒澤健一	加藤勝明	横山功	渡邉良太	北原正勝	高橋伸治	大嶋達巳	三宮幸雄	今関公美	日高英城	工藤日出夫	金子眞理子	保角美代	岸昭二	島野和夫	湯沢美恵	中村洋子	諏訪善一良
市長提出議案	第五次北本市総合振興計画基本構想について	継続審査となりました（２ページ参照）																				
	北本市部設置条例の一部改正について	可　決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	北本市議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部改正について	可　決	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	北本市税条例等の一部改正について	可　決	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	北本市印鑑条例の一部改正について	可　決	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	北本市教育に関する事務の職務権限の特例に関する条例の制定について	可　決	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
	公の施設の指定管理者の指定について	可　決	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	市道の路線の認定について	可　決	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成27年度北本市一般会計補正予算（第３号）	可　決	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成27年度北本市国民健康保険特別会計補正予算（第２号）	可　決	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成27年度北本市介護保険特別会計補正予算（第３号）	可　決	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
委員会提出議案	北本市基本構想を議会の議決事件と定める条例の全部改正について	可　決	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	北本市議会会議規則の一部改正について	可　決	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	「仲仙道北本工区街路整備事業未整備箇所の早急な整備」を求める意見書	可　決	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願	北本市の健康増進活動及び環境改善整備に関する請願	採　択	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	北本総合公園の野球場防球ネット設置と安全な使用に関する請願	採　択	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	『「安全保障関連法」（国際平和支援法、平和安全法制整備法）をすみやかに廃止し、立憲主義の原則を堅持することを求める意見書』の提出を求める請願	不採択	×	×	×	×	×	×	×	○	×		○	○	○	○	×	×	×	○	○	×
	北本市総合振興計画の基本計画を議決事件とする請願	採　択	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

【継続審査とは】

議会の活動は、原則として会期中に限定されていますが、「継続審査を要する」とされた案件があった場合には、閉会中に委員会が活動することを認めるかどうかについての採決が行われます。採決の結果、継続審査が認められた場合には、付託先委員会は、閉会中に継続審査を行い、その結果、結論が得られた場合には、次期定例会に審査結果を報告します。

※議長は表決に参加しないため、表決結果は空欄になっています。

※表の見方　○：賛成　×：反対　欠：欠席　－：棄権

編集後記

「きたもと議会だより」今号から少し内容が変わっていることにお気付きでしょうか？

広報委員会では、議会改革の一環として「議会だより」をより充実させ、議会の動きや働きをもっと皆様にお伝えしなければならないと考え、増頁などについて検討しています。

一般質問の詳細及び執行部の回答や、討論の掲載、行政視察結果の報告、常任委員会の調査・研究の活動内容報告、所管事務調査事項等、なるべく詳しくお伝えできるように努力してまいります。（日）

議会広報委員

委員長　湯沢美恵
副委員長　北原正勝
委員　日高英城
〃　松島修一
〃　島野和夫

この印刷物は再生紙を使用しています。